

項	教育目標	重点目標(努力目標)	具体的な取組	取組状況・成果・課題	4段階評価	改善策	学校関係者評価でいただいた意見等
一人一人の自立に向けた力を伸ばす 特色ある神戸の教育を更に発展させる	明るく元気な子 思いやりのある子 粘り強い子	身近な環境に自ら関わり、心も体も弾ませて遊ぶ子供を目指して くみつけよう！やってみよう！笑顔はじけるなおっ子！	身近な自然との関わり	<ul style="list-style-type: none"> 『日歩が丘』での遊びを計画的に取り入れることで、季節の移り変わりを感じたり、学年ごとの発達に応じた遊びを展開したりすることができた。また今年度は環境学習の研究指定を受けたことで、年間を通した保育計画の在り方や環境構成を見直す機会になった。 地域の方の協力を得て、泥田遊びやレンゲ摘みなど、貴重な経験することができた。 飼育栽培などにも取り組み、身近な命を感じ大切に思う気持ちが育った。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、教育課程と照らし合わせながら発達に応じた経験ができるように計画していきたい。 日歩が丘の環境を生かした保育を行うためには、安全面での配慮も欠かせない。保護者や地域の方の協力も得ながら、『日歩が丘』の自然を守っていききたい。また地域の環境資源を生かした保育も積極的に取り入れていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 素晴らしい環境だが、整備をするのはとても大変だろう。そのうえ、安全面なども考えると、子供たちの遊び場として維持していく難しさを感じる。とはいえ、今のよい取組が継続できるように願いたい。 児童館の子供ヘルパーや小学生も日歩が丘に親しみをもち、活用したりボランティア掃除をしたりする機会をつくることのできるのではないかな。 泥田遊びなど、絵本や図鑑などでは学べない生きた経験ができています。地域ならではの経験ができることに感謝したい。 温かい雰囲気の中で、安心して人と関わり、親しみがもてているのがよい。
			様々な人との関わり	<ul style="list-style-type: none"> 長尾町消防団や婦人会など、様々な場面で協力をいただき、温かい雰囲気の中で、親しみをもって触れ合うことができた。 大沢幼稚園との交流や未就園児との交流では、様々な友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わったり、年下の友達にやさしくかかわろうとする気持ちが育ったりした。また北神戸中学校のトライやるウィークを通して、中学生にやさしく受け入れてもらい、幼児は安心して関わる姿が見られた。互いに有意義な時間を過ごせた。 ラグビー教室やALTの先生などに来園いただき、子供たちの興味関心の幅が広がった。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 幼児からも積極的に挨拶をしたり話をしたりすることができるように、温かい雰囲気の中で人との関わりがもてる機会を大切にしていきたい。 人との関わりを通して、異文化に触れるなど、幼児がしぜんに興味関心を広げていけるような機会をつくっていききたい。 	
			絵本との触れ合い	<ul style="list-style-type: none"> 全保護者による絵本の読み聞かせを行っていただき、子供たちはとても楽しみにしている姿があった。 毎日の保育の中での絵本の読み聞かせだけでなく、人形劇や紙芝居、エプロンシアターなども活用しながら、お話の世界に親しみをもち楽しむことができた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 保護者にとって負担にならないよう、引き続き協力を得られるようにしていきたい。 絵本の棚の整理や新刊購入など環境を見直していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の読み聞かせは、子供にとっても保護者にとってもよい機会になる。ぜひ継続して行ってほしい。
			体力向上	<ul style="list-style-type: none"> 冬場も寒さに負けず外遊びを継続できるように、体操や鬼ごっこなどをする時間を設けた。グラウンドを駆け回ったり、芝生の上を転がったり裸足で遊んだりするなど、年間を通して戸外で元気に遊ぶ姿が多く見られた。 日歩が丘で遊ぶ機会を多くもち、自然の中で山道や崖を自分の力で登ったり、バランスをとって竹渡りをしたりをするなど、存分に体を動かす経験ができた。 「歩く」経験を意識して、園外保育の活動内容を考えていくようにした。また少しずつ登園時も徒歩で来る姿が見られるようになった。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 日頃から歩く経験が少ない幼児が多いように感じられる。意識して歩いて出かけることができるよう保育を工夫したり、保護者にも「歩く」ことを推進したりできるようにしたい。 姿勢の保持が難しい幼児も目立つ。体を動かすだけでなく、体幹を鍛えることを意識した遊びを取り入れていきたい。 	
			表現活動の工夫	<ul style="list-style-type: none"> 自然と関わって遊び、幼児が感動したことや感じたこと、考えたことをタイミングよく捉えて表現活動の場をもてるようにした。 一人一人の表現を温かく受け止めていくことで、幼児はのびのびと表現活動を楽しむようになっていった。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 教師も幼児と一緒に共感したり感動したりしながら、幼児一人一人の思いに寄り添い、認めていけるように保育力をつけていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な経験を通して、子供たちがのびのびと活動し、いろいろな力を育んでいることが分かる。 素晴らしい保育の取組があるので、園児数が増えることを願いたい。
教職員・学校の魅力と実力を磨き高める	資質向上	3年保育の充実を図る	<ul style="list-style-type: none"> 3年保育の教育課程を見直し、それぞれの学年に応じた必要な経験の在り方を考えていくように努めた。3年間のスパンの中で、計画的にどのように保育を進めていくか、全職員で共通理解していくことが大切であると感じた。 3学年が互いに刺激を受けながら遊びを楽しめるように、様々な行事の中で関わりを大切に計画を進めたり、幼児同士の関わりを支えたりした。年下の友達を思いやる気持ちをもてるようになったり、年上の友達にやさしくかかわってもらうれしさを感ぜたりしている。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 3年間の育ちをしっかりと捉え、計画的に保育を進められるように研修を重ねていきたい。 保育室が離れているため、日頃からのしぜんな異年齢のかかわりが持ちにくいのが課題である。教師が意識して声をかけたり、場を設定したりしながら、関わりを支えていきたい。 集団生活の中で、友達と関わる力の基礎を培っていけるように、また互いの良さを知り、温かい関わりができるようにしていきたい。 		
		保幼小連携を図る	<ul style="list-style-type: none"> 「保幼小接続のための連携事業」の研究指定を受け、長尾小学校とオリンピア保育園と共に研修を行った。学習と保育、それぞれのねらいを知り、子供の育ちを共通理解していくことの大切さを実感した。 年長児と1年生だけでなく、5年生とも交流の機会をもつことができた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 互いの学びを話し合う機会をつくり、より意義のある交流の場にしていきたい。 教師間の連携についても、研究指定が終了後も引き続き継続していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も小学校との交流の機会を設けてもらうことは保護者としてもうれしい。園児だけでなく、1年生にとってもよい機会になっている。 今年の研究の取組を次年度につないでいきたい。 	
		幼稚園教育の情報発信	<ul style="list-style-type: none"> 園だよりや保護者会を通して、幼児の育ちや教師の願い、保育のねらいについて具体的に伝えていけるように努めた。またホームページも定期的に更新できるようにした。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 全保護者に、効率よく園の取組を伝えていけるように工夫していきたい。 地域の方へ、まずは園を知ってもらう努力が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 日歩が丘での遊びの様子や取組など、園の特色としてもっとアピールしていくとよいのではないかな。 	
		業務の見直しを図る	<ul style="list-style-type: none"> 職員同士で声を掛け合い、協力し合いながら業務を進めることができた。 見直しにおいては、絶対に必要なこと、工夫できることをその都度検討するようになった。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き業務を見直し、保育の研修や準備などの時間をしっかり確保できるようにしていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 預かり保育を増やすなど、先生たちは大変だろう。先生たちの苦勞が報われるような状況になるとよい。 	
市民が自ら学び支える 共子育		保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> 毎日、担任から幼児の姿や教師の願いなどを分かりやすく伝えるように心がけた。また日頃から情報交換を積極的に行い、保護者の思いを受け止め、信頼関係づくりに努めた。 預かり保育を利用する保護者に対して、クラスの様子などゆっくり話す機会をもちにくいのが課題である。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 日頃から話しやすい雰囲気を大切にしていきたい。 降園時間が違うことで、教師に限らず、保護者同士もコミュニケーションを図りにくい面がある。全保護者が集まる機会を有効に活用できるようにしていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者同士の関係が大変だから公立幼稚園に入園しない人もいる。日頃から、コミュニケーションを図り、温かい関係を築いていけるとよい。 	
		地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> 地域の方の多大な協力をいただき、幼児の育ちを支えていただいていることを知り、感謝の気持ちがもてるようにしていきたい。 児童館や地域との行事(しめ縄づくり、餅つき大会、とんどなど)は、地域ならではの伝統行事に触れるよい機会である。参加が増えるようにもって呼びかけていきたい。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 地域あつての幼稚園である。今後も地域と共に子供たちを育てていけるような関係を築いていきたい。 幼稚園の良さを伝える中に、この地域ならではの良さも発信していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の行事では、やっもらう受け身ばかりではなく、子供たちが意欲的に参加し、準備から経験できるようにしていくことを大切に考えていきたい。 児童館の活動と連携できることを見つけていくようにする。 	